

2023 . 12. 21. No.428

おきがくろうニュース

沖縄学校事務労働組合



自らの要求は自らの手で!

カンパ送付先

郵便振替

02090-0-2239

沖縄学校事務労働組合

連絡先

okigakurou2017@gmail.com

行ってきました!文科省・総務省・議員要請!!

去る12月1日に全国学校事務労働組合連絡会議(以下全学労連)は秋季中央行動を行った。私個人としては初参加である。不安と緊張、そして、オンラインでしか会ったことがない全国の学労の仲間に出会える事に嬉しさを覚えていた。今月号は、秋季中央行動を皆さまにお伝えしたいと思う。

(沖学労は全学労連に加入しており、全国の仲間とともに活動している。)

※※※※瞬く間の文科省要請※※※※※

文科省交渉、時間は30分。

以下、「政策要請書(内容要約)」と「回答」である。

①学校徴収金の公会計化についての姿勢を明らかにすること。→給食費以外の教材費等学校徴収金についても公会計化を推進する姿勢。まずは給食費から。学校徴収金の管理や徴収は、学校教師の本来の業務ではなく、地方公共団体が担っていくべきである。

②共同学校事務室が学校事務職員の業務負担になっている認識はあるか。いずれにしても、認識根拠を示すこと。→業務負担増を招いているのではないかと認識はある。ただ、国立教育政策研究所の抽出調査では、共同学校事務室の設置や共同実施によって、業務量は大きく変化していないという回答が多数を占めている。→全学労連からも生の声を収集し今後の検討材料としたい。

③市区町村費学校事務職員の「交付金算定上見込(予算請求)人数」と「実際の配置人数」の開示。

→交付金算定上は2.6万人

(小学校1.7万人・中学校0.9万人)

地方交付金(18学級につき1人)算定されている。どのような形で人員配置するかは各市町村裁量。

→実際の配置数は約7千人。

→常勤(フルタイム)はその内約2千人。

→財務省からは「予算付けても活用していないから、人員不要では?」と思われる

④義務教育費国庫負担制度の改善と総額裁量制の廃止を求める。→特段回答なし。

⑤有期雇用職員の無期雇用転換。有期雇用職員の賃金上限の現状確認。→令和2年4月に施行された改正地公法では、「常勤職員と同等の職務内容、責任を有する場合に各級の最高号給未満の号給を上限として設定する取り扱いを改める必要がある」と総務省公務員部から各都道府県等に事務処理マニュアルとして示されているが、文科省として各自治体に指示はできない。しかし、担当者が集まる場で説明を行い、情報提供等を行っていきたい。

文科省担当者の傾聴姿勢があまりにも良すぎたので、もの凄く感動しました。沖縄県の当局には見習ってほしい。限られた時間ではあったが、教員より事務職員の高い休職率、共同学校事務室の負担感、職務標準一覧表より学校徴収金の削除依頼、学校教育の無償化を要望できた。話のテンポがもの凄く早いうえに専門用語が飛び交い、学校事務をやって10年。まだまだ知らない事が沢山あると我が身を振り返った。

※※※※アットホームな総務省※※※※

文科省要請の後は3グループ(総務省・財務省・全国教育委員会連合会)に分かれて要請を行った。私は総務省要請に加わった。総務省では幅1メートルの机に向かい合っただけの交渉。膝を突き合わせた要請であった。主な内容は3点。

①次年度より導入される会計年度職員の勤勉手当支給(沖縄県小中県立には該当職員なし)について→勤勉手当の支給により、年収が増え扶養要件から外れる。にも関わらず、社保要件を満たしていないため国民年金国保加入→職員の扶養親族要確認!!

②人事評価制度の反映について

→総務省HPに国の人事評価制度を各自治体への参考としてUP→国の勤勉手当は半年毎に反映。

③学校現場の臨時的任用職員の重要性を訴え、無期雇用転換を要望→臨時的任用職員は本務職員の代替扱い→法律の壁があり難しい→総務省に運用での無期雇用転換を求めた。

お互いに情報交換の意味合いが強かった。国の制度も知る事ができ、今後の沖縄での交渉に活かしていきたい。

※※※※※議員要請と国会質問※※※※

全学労連として、4名の議員さんに文科省交渉内容に加えて「事務職員定数充足率の改善」と併せて「学校での人手不足と有期雇用者の増加」の現状を訴えた。→「共同学校事務室あり方」や「教員の働き方改革の犠牲に事務職員がなっていないか」次の国会質問や政策提案に上げてくださると確約をいただきました。是非、チェックしてみてください!!

沖学労としては、県出身の5名の議員に要請行動を行った。アポイントがない中、議員本人が対応してくださった事務所もあり「2回目へき地・離島への強硬異動」「宮古島・石垣島の小中教職員宿舎の要請」等、沖縄県独自の問題改善を要請することができた。

※※※酒井雅親さんをしのぶ会※※※※

学労の生みの親と言われている酒井雅親(さかいまさちか)さんが今年お亡くなりになりました。ご冥福をお祈りいたします。事務職員の地位・給与制度の改善、法定外控除の拒否運動、各県学労の立ち上げに力を注ぎ、職種の垣根を越えて教員団体・行政とのパイプを残してくれました。今に至るまでには教組からの独立、自治労への分断とさまざま激動の歴史があります。詳しくは『世直し共闘』と検索してみてください。本が廃版になっているため、HP上にUPされております。

酒井雅親さんの理念を胸に、勝ち取った学校事務職員の地位を「何でも屋」に落としはしない。沖学労も全国の仲間と連帯し「学校事務職員になって良かった」と思える制度作りに取り組みます。

※※※※※ エトセトラ ※※※※※

要請行動の他にも、マイナンバー制度や業務改善、各県の取組について報告会が行われた。情報交換の中で、特に驚いた内容を紹介します。

①180日は当たり前ではない!?

→病気休暇管理簿の取り扱いを質問した際に、そもそも他県では180日のお休みがないことが判明。「昔は180日あったが短くなった」「長期療養扱い」等々→沖縄が先端なのか後追いなのかは分からないが職員にとっては落ち着いて治療できる良い制度。

②不妊治療の取得方法を質問した際に、沖縄県のように病気休暇・休職を取得していないことが判明。沖縄県では一時期、不妊治療で病休休暇・休職を取得できたが今は取得が難しくなっている。少子化対策に逆行している仕組みであり、沖学労としても改善を要望していきます。

③通勤手当→県によって1Km単位での認定。毎年km単価見直し→沖縄県通勤手当金額はH7年から月4万以下の認定金額は変わらず…。→他県を提示し手当額の増額を要望していきます。

④他県での人事評価制度の運用について

「2年に1回プラスUP」→評価制度形骸化に成功。「採用10年目まで評価結果を反映させず特昇扱いで一律に昇給」→若いゆえの不利益を被らない工夫。

「評価結果に応じてポイントが割り振られる。ポイントの積み上げ方式(2~3年に1回プラス昇給)」→評価が翌年に反映される訳ではないので、誰が、いつ、どの評価をもらったのかわかりづらい。差もつきにくいいため、他者と比べる事もなく、心穏やかに過ごすことができる。

沖学労は他学労と連帯し、事務職員の待遇改善に取り組んでおります。

来年8月3日・4日には沖縄県で「第51回全国学校事務労働者交流集会(全交流)」が開催されます。皆さまも全国の仲間と会ってみませんか。参加希望の方は、1枚目連絡先までご連絡ください。

連載小説「デスクワーカーズ (JWS)」

博：第二高校の事務職員。「JWS」組合員

始、静華、香子：第一高校の事務職員

この3人を中心に組合加入・活動までの物語が展開していく。

第10話 学校事務独自組合

「デスクワーカーズ(JWS)」(5)

「一応言っとくけど、組合は、任意団体なので、当然入るのも自由意志、辞めるのも自由意志だからね。」

「あと、組織なので、運営に係る経費と個々の力が必要なので「組合費の負担」と「出来る範囲での運動への参加」が必須だね。」

「それと、組合活動運動を通して、組合員との絆を深めてくれるよう頑張ることかな。」

博は、また一気に言った。

「あ、はい、なにか、入るのが前提のような説明ですね」始は困惑して答えた。

「あ、そう聞こえたならごめんね。「ちゃんとやるとかかない」と思って。おじさん、せっかちなところがあるから」、ごまかし笑いをしている博であった。

「それなら、他の組合員にも会ってみるのも良いかもね。今度の金曜日に、組合員どうしの飲み会があるので参加してみるかい?色々な話を聞いて、きっと楽しいと思うよ。」

「俺は、飲み会に行こうと思うのだが、2人はどうかな?」、始は2人に聞いた。

「私は良いよ、なんか興味が湧いてきたから」、静華が答えた。

「始さんや静華さんが行くのでしたら、私も行きます」、香子も同意した。

「博さん、そういうことですので、3名飲み会に参加させてください」、始は返答した。

「3名とも参加してくれるとは嬉しいね。場所と時間は・・・、みんなのことは伝えておくから」。そこまで話すと、「バスの時間があるから」と言って博は帰っていった。

「まじめはすぐ加入すると思ったけど、けっこう慎重だったな。「きちんと考えて行動する」まじめのそこんところがすきなんだよな」、姫はまじめを見て言った。

「そうですね、わたくしもまじめさんのことは信頼しています」かおるも続けて言った。

「おれって、信頼されているんだ」、内心照れながらそう思う始であった。

~~~~~

「沖学労」で検索。

HPにバックナンバーあります(▽▽)

